

## 山田地域

まちづくりと公共施設の  
「これから」を考えるワークショップ10月17日（土）に  
開催しましたワーク  
ショップについて  
お知らせします！

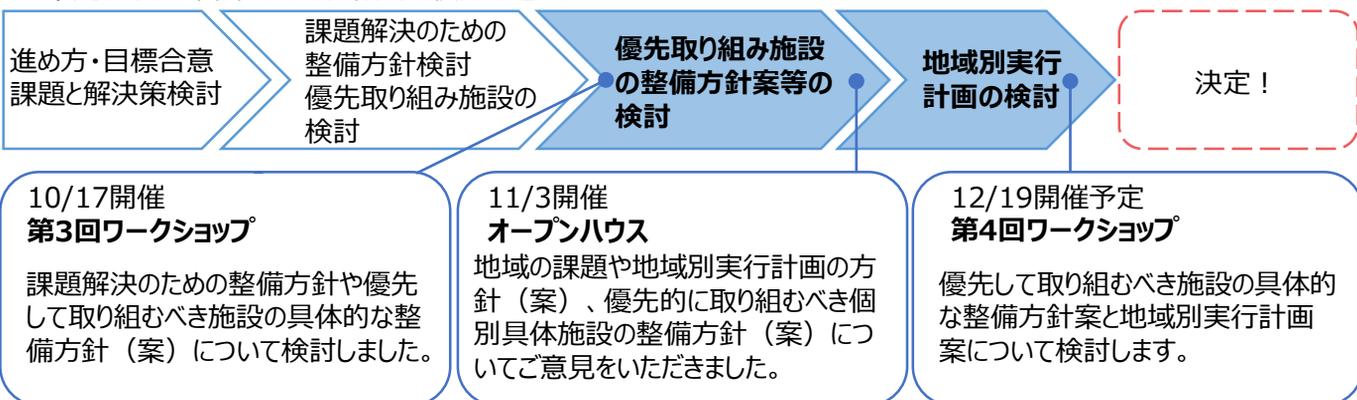
富山市では、今年度、山田地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいの皆様と富山市がともに考えるワークショップを開催しています。10月17日(土)に第3回ワークショップ、11月3日(火・祝)にオープンハウスを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容や地域別実行計画策定に向けてのご意見を募集しています。

## 検討の進め方

富山市は、このワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいたご意見を反映させた、山田地域における公共施設の用途別に将来の整備方針を定める「地域別実行計画」を策定します。

策定までは、下図のように段階的に検討を進めます。



## オープンハウス（パネル展示型説明会）を開催しました！

山田地域では、山田地域文化祭にあわせて、山田公民館にてオープンハウスを開催しました。

これまでのワークショップで検討されてきた地域の課題や地域別実行計画の方針（案）、優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）について、パネルを用いて事務局職員が説明を行い、ご意見をいただきました。



日時：令和2年11月3日（火・祝）10時～13時（山田公民館）

対象：山田地域にお住まいの方

アンケート回答者数：39名

アンケートの結果やご意見については、ホームページをご覧ください。

年齢

30代 6名／40代 4名／50代 3名／60代 14名／  
70代以上 10名／不明 2名

性別

男性 9名／女性 23名／不明 7名

## 地域の将来的な公共施設の再編方針（案）

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した、「地域の将来的な公共施設の再編方針（案）」について、ご意見をいただきました。

対象施設	山田公民館、山田交流促進センター
再編方針(案)	・優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）の中で検討する。（再配置案を参照）（短期）
第3回ワークショップでの主なご意見	【山田交流促進センター】 ・旧山田村時代には講演会や表彰式など重要なイベントでよく利用されていた。今は以前ほど利用されなくなり、利用率が低くなっている。残念ではあるが、廃止はやむを得ないだろう。 ・集会施設という用途にこだわらず、多目的に利用できるようにすることで、有効活用をする検討をしてみてもどうか。

(2) 図書館	対象施設	山田図書館
	再編方針(案)	・山田図書館は地域内に唯一の図書館であることから、現状の配置のまま維持する。(中長期)
	第3回ワークショップでの主なご意見	・学校にあることで、子どもたちは利用しやすく、親も借りやすく便利である。現状のままで良いと思う。 ・学校内に図書館があることで一般の人が使いづらい面がある。公民館と中核型地区センターを複合化するのであれば、これを機にかつてのように公民館に戻すことも良いのではないかと。
(3) スポーツ施設 (体育館・その他スポーツ施設)	対象施設	山田総合体育センター、山田総合グラウンド
	再編方針(案)	・利用状況が著しく悪化した場合には、施設の廃止を検討する。(中長期) ・利用者の安全を確保し、利用者の増加に向けた運営の工夫を行う。(短期)
	第3回ワークショップでの主なご意見	【山田総合体育センター、山田総合グラウンド共通】 ・短期的取組み、中長期的取組みともに、意見が反映されていると思う。 ・地域住民はあまり利用しておらず、利用するとしても総合グラウンドで開催している住民スポーツ大会があるが、小・中学校のグラウンドでも開催できると思うので、廃止となっても影響は少ないのではないかと。 ・避難場所として指定されており、また災害時のヘリコプターやドクターヘリの着陸スペースになっている。山田公民館や山田中核型地区センターより水害などの面で安全なエリアだと思つたので、施設を廃止することになっても、その機能は維持してほしい。 ・社会体育の活動拠点になっていることから、地域内で利用率の向上をめざすよりも、他地域の人に利用してもらうよう工夫するのが良いと思う。 ・宿泊施設と連携し、スポーツ合宿で利用できるようにすれば、平日利用も増えるのではないかと。 【山田総合体育センター】 ・利用料がかかるので、地域住民は学校開放を利用している。スポーツ施設としての機能は学校開放で足りているので、廃止になってもあまり地域住民としては支障はないと思う。
(4) レクリエーション・観光施設	対象施設	人工造雪多目的施設、牛岳温泉スキー場管理事務所、オートキャンプ場 きらら、フォレストアメンティ展望台、牛岳温泉健康センター
	再編方針(案)	・利用状況が著しく悪化した場合や、大規模改修が必要となった場合、民間への事業移管が困難な場合には、施設の廃止を検討する。(中長期) ・民間の運営ノウハウを活用し、利用促進及び運営の効率化を図る。(短期)
	第3回ワークショップでの主なご意見	【全般】 ・個別に運営がされていることで、全体的に利用率アップなどの効果が出ていないように思う。ささみねや牛岳温泉健康センターなどの施設間の連携や複数の施設を一体的に運営するなど工夫をしてはどうか。 【牛岳温泉健康センター】 ・牛岳温泉健康センターなど、既に民間が運営している施設が地域内にあるが、利用者が減少していることから、さらに民間の運営ノウハウを活用し、利用促進及び運営の効率化を図る対策が必要だと思っている。 【牛岳温泉スキー場管理事務所】 ・低地で雪が多く降らないが、人工造雪機を導入していることで、冬期にずっとスキーができるということを山田の魅力のひとつとして打ち出し、牛岳温泉スキー場が廃止にならないように前向きな検討をしてほしい。 ・牛岳温泉スキー場を残してほしいと要望するだけでなく、どうすれば存続できるかを地域住民も考えていかなければいけない。存続できるのであれば、運営主体は民間でも良いと思う。 【その他】 ・昨年度の市の予算をみて、牛岳温泉スキー場には多くの予算がついていることを知り、内訳を知りたいと思った。スキー場に多くの予算を費やすのであれば、福祉機能の充実などに使ってもらいたい気持ちもある。 ・フォレストアメンティ展望台は、現在、管理もされておらず、展望台として機能していない。老朽化も進み危険であることから廃止しても良いと思う。
(5) 産業系施設	対象施設	山田農林産物加工直販施設
	再編方針(案)	・運営状況は良好であり、地域外からの集客を見込める施設であることから、現状のまま維持する。(中長期)
	第3回ワークショップでの主なご意見	・運営の工夫によって利用者が増えているが、冷房設備や冷蔵設備がなかったり、駐車場が狭いことから、それらの整備をすることで、さらに有効活用できるようにしてほしい。運営状態が良いので現在の運営組織に建物の譲渡するのも良いと思う。譲渡をした上で市が改修費などを補助できれば、運営の幅も広がり、さらに魅力的な施設となって、利用者も増えるのではないだろうか。
(6) 学校(小・中学校)	対象施設	山田小学校、山田中学校、野外教育活動センター
	再編方針(案)	・児童生徒数の推移を見極めながら、今後の小中学校のあり方について見直しを行う。(中長期) ・野外教育活動センターは、市内に類似施設があるため廃止を含めた施設のあり方を検討する。(短期)
	第3回ワークショップでの主なご意見	・小・中学校の統廃合の方針が12月に示されると聞いていたので、学校については、この場で話し合うことではないのではないかと。 ・小・中学校を現状のまま残してほしいと思つていても、児童数、生徒数が少なければ、市としては統廃合となってしまふ。山田地域からも、市へ解決策を提案していきたいと思つている。 ・野外教育活動センター周辺は、五右衛門風呂など設備が良いものがあるが、教育施設であることから、地域住民はあまり利用していない。廃止となっても地域にとっては支障はないと思う。 ・野外教育活動センターは、登山ができ温泉などもあり、県所有の教育施設にはない特色を持つ。また、利用率向上のためには、今後、山田地域ならではの自然体験プログラムを考えるなどして利用価値を高め、有効活用すべきである。

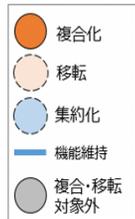


## 優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）

### B案

- 山田中核型地区センターを改修し、地域拠点として整備

- 山田中核型地区センターを改修し、山田公民館の機能を複合化した新規拠点施設を整備。
- 山田交流促進センターの機能を山田中核型地区センターに集約化。



### 長所

- 中核型地区センターの未利用スペースを活用した複合化が可能である。
- 従来の庁舎機能に、公民館機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

### 課題

- 駐車スペースを十分に確保するだけの敷地がない。

### B案についての第3回ワークショップでの主なご意見

- スペースの問題や避難所などの災害時対応のあり方や、また、山田公民館の跡地活用のあり方など、A案より検討するべきことが多いように思う。
- 山田中核型地区センターに、山田交流促進センターと山田公民館の機能を複合化するほどのスペースがないのではないか。駐車スペースも足りないと思う。耐震補強や建物改修もしなくてはならず、整備費がA案よりかかると思う。また、公民館からの音が近隣へ響いたりしないか心配である。

### A案・B案 共通

### 第3回ワークショップでの主なご意見

- 山田公民館と山田中核型地区センターを複合化することで、設備も機能も充実し、利便性が高まるので、魅力的なコミュニティ施設になるだろう。
- 山田交流促進センターは、まだ利用できると思う。多目的施設にするなどして、残すことを検討してほしい。

### ご意見募集

ワークショップに参加された方だけでなく、多くの山田地域の皆様のご意見を今後の計画に反映させたいという考えのもと、ご意見を募集します。

- ワークショップで検討された内容について
- 山田地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便などにより、どうぞお気軽にお届けください。また、差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

皆様のご意見を  
お待ちしております！



### お問い合わせ先

富山市企画管理部行政経営課  
電話：076-443-2021  
ファックス：076-443-2170  
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

### 公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。  
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikeieika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>

